

2021年12月期 第1四半期 決算補足資料

株式会社スペース

東証一部：9622



Agenda

01

2021年度 第1四半期 決算の概要

02

2021年度 業績予想

03

中期経営計画

04

サステナブル



Agenda

01

2021年度 第1四半期 決算の概要

02

2021年度 業績予想

03

中期経営計画

04

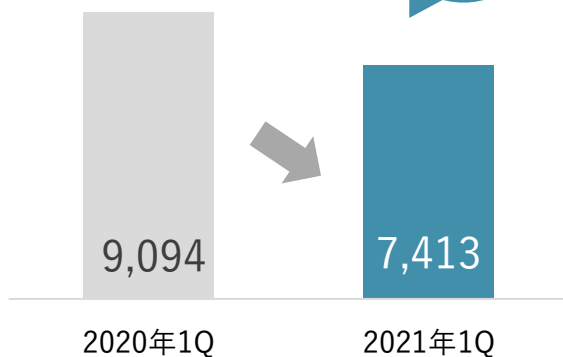
サステナブル



売上高

7,413百万円

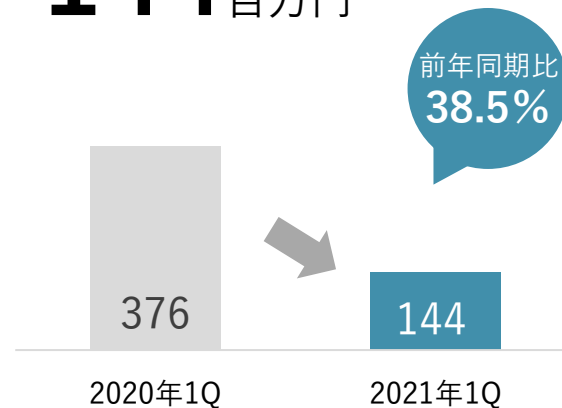
前年同期比
81.5%



営業利益

144百万円

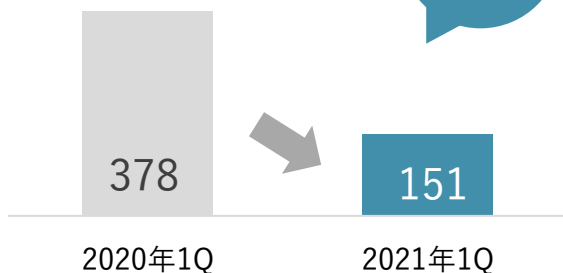
前年同期比
38.5%



経常利益

151百万円

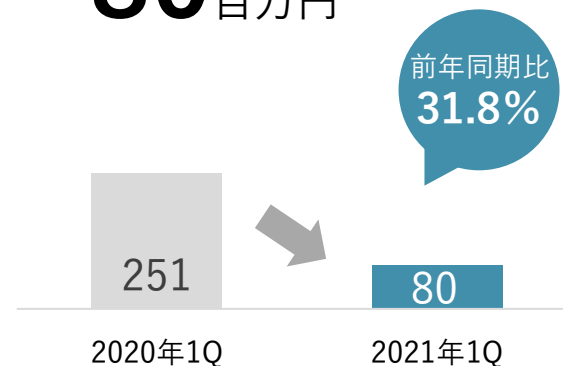
前年同期比
40.1%



親会社株主に帰属する 四半期純利益

80百万円

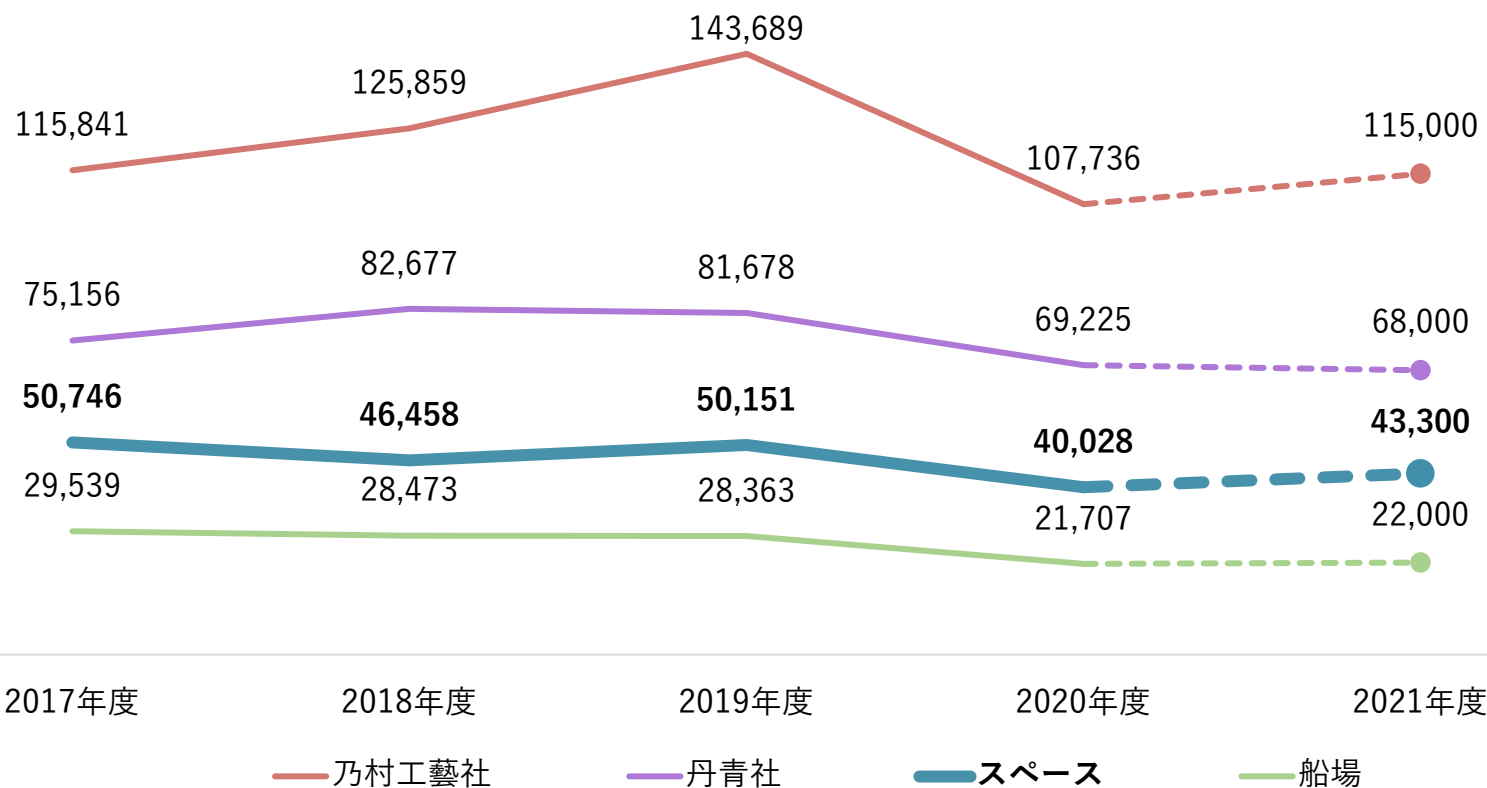
前年同期比
31.8%



ディスプレイ業界の動向

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業界全体として先行きは不透明となるが2021年度は本格的な回復には至らず、横ばいか微増と予測

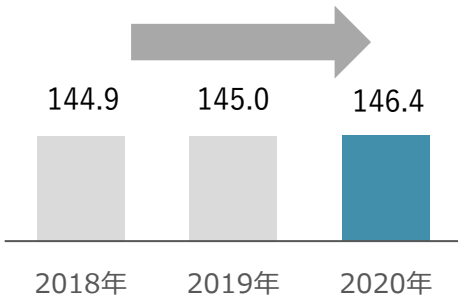
連結売上高（単位：百万円）



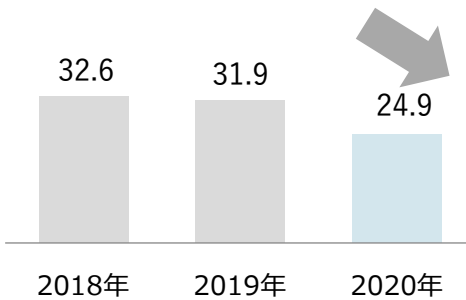
※ 当社は2019年度より連結決算を開始したため、2018年度以前は単体数値を掲載しております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業種によってばらつきが見られる

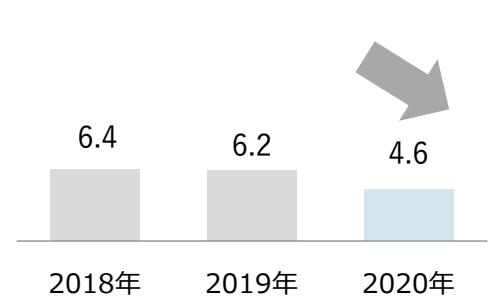
小売業



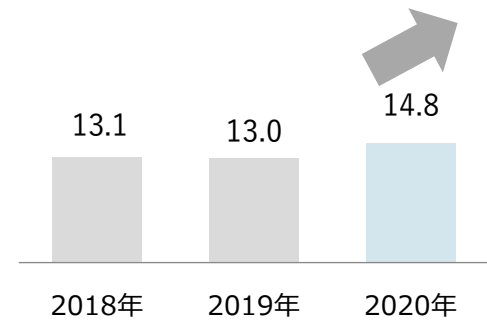
SC



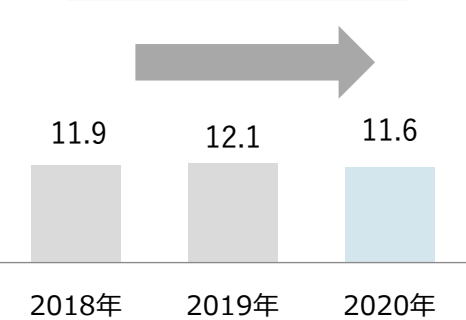
百貨店



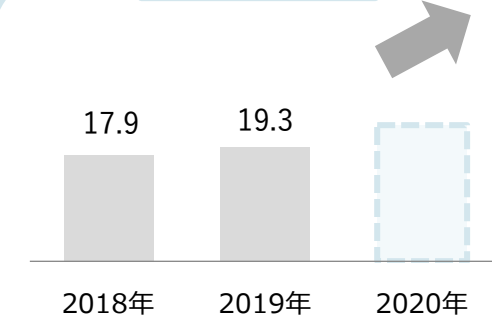
スーパーマーケット



コンビニエンスストア



EC市場



(出典) 経済産業省「商業動態統計」・「電子商取引に関する市場調査」
一般社団法人日本ショッピングセンター協会「SC年間販売統計調査」

SCの新規出店数は減少傾向
近年は中小規模タイプや複合型のSCが増加

■ SC新規出店数（1~3月） ■ SC新規出店数（4~12月）



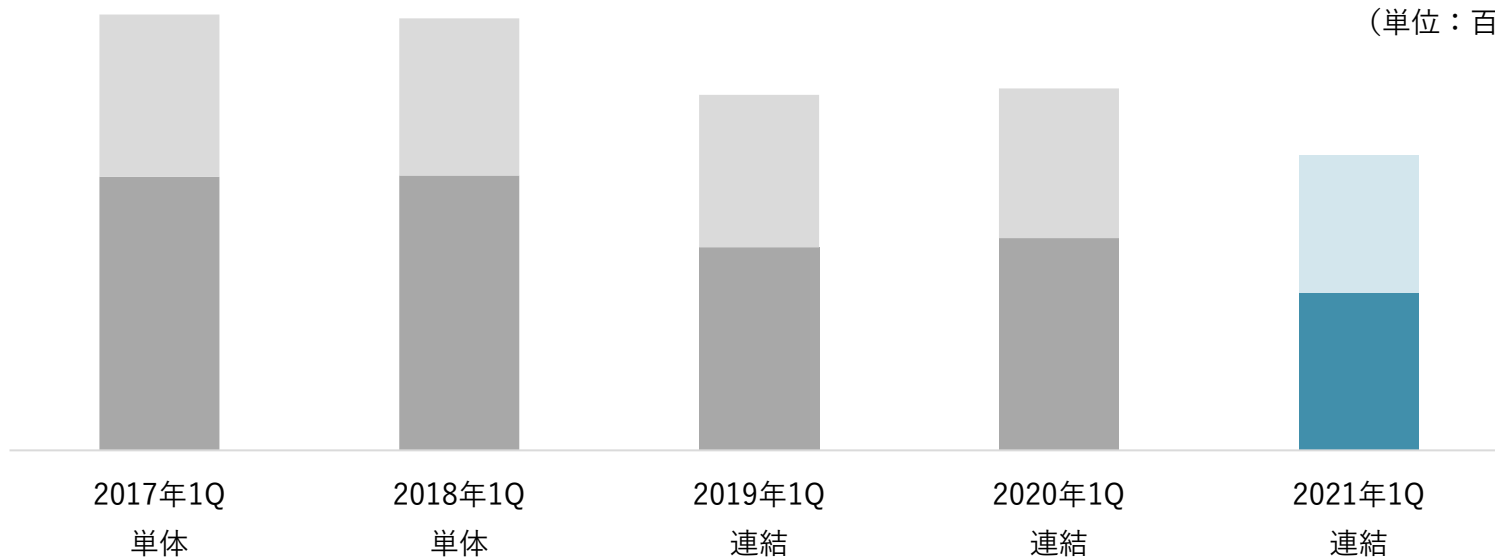
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度（計画）
4~12月出店数	39	28	40	31	(30)
1~3月出店数	9	9	6	9	5
年間出店数	48	37	46	40	(35)

（出典）一般社団法人日本ショッピングセンター協会「オープンSC情報」

売上高推移（SC関連・その他）

当社の売上高のうち、SC関連が5割以上を占める
SC関連以外では、オフィス・サービス空間の受注を強化

■ SC関連 ■ その他
(単位：百万円)



	2017年1Q 単体	2018年1Q 単体	2019年1Q 連結	2020年1Q 連結	2021年1Q 連結
その他	4,081	3,950	3,837	3,764	3,445
SC関連	6,873	6,908	5,098	5,329	3,967
合計売上高	10,954	10,858	8,935	9,094	7,413

売上高推移（SC関連）

SCの新規出店数や既存店のリニューアル減少に伴い、売上高も前年同期比74.4%となる

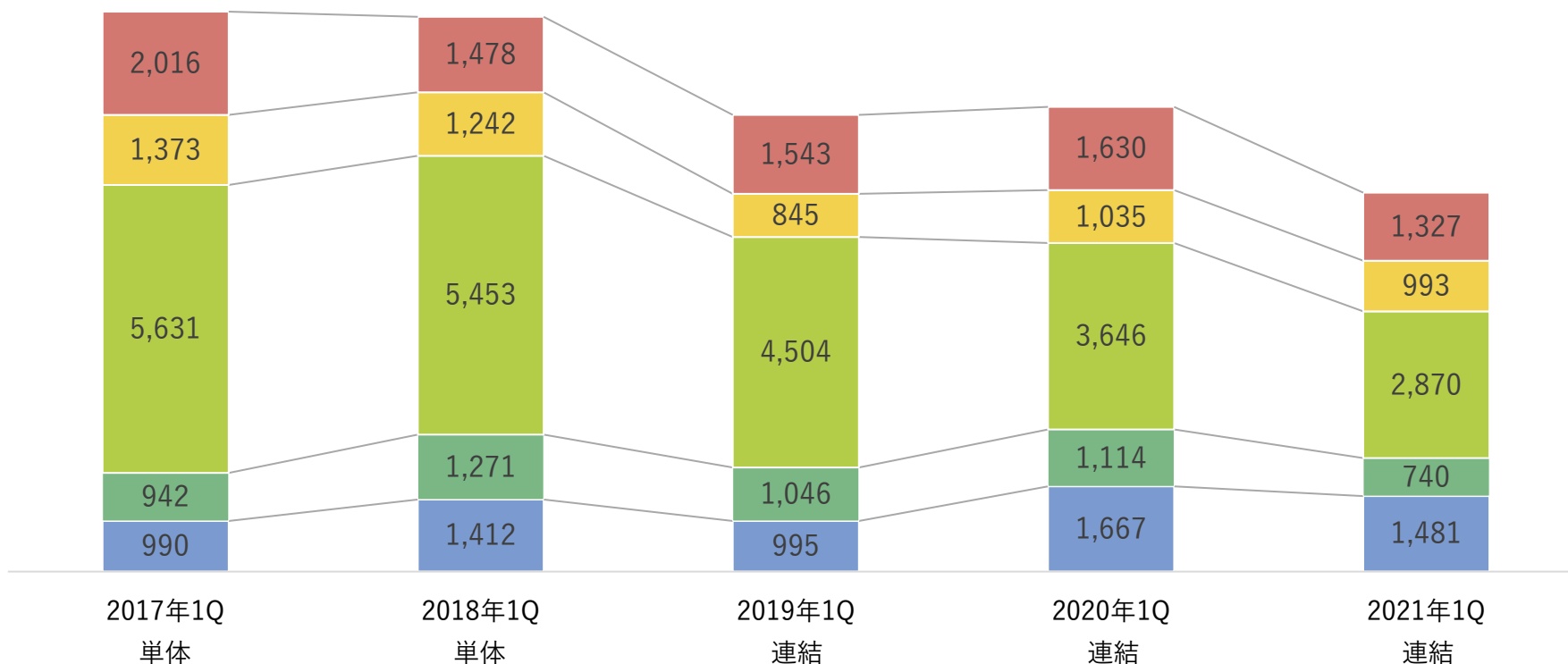


	2017年1Q 単体	2018年1Q 単体	2019年1Q 連結	2020年1Q 連結	2021年1Q 連結
既設SC	5,792	5,840	4,791	4,344	3,100
新築SC	1,081	1,068	306	985	866
合計	6,873	6,908	5,098	5,329	3,967

市場分野別売上高推移

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、企業の設備投資が抑制され、受注環境は厳しさを増す

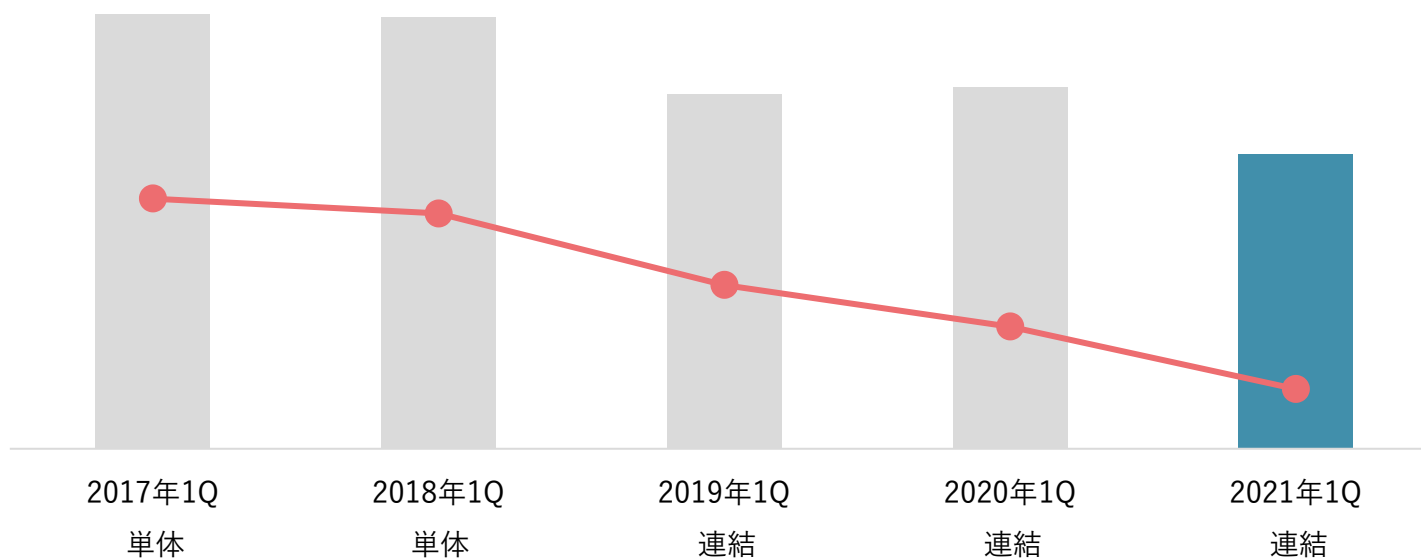
- 複合商業施設・総合スーパー
 - 食品スーパー・コンビニエンスストア
 - 各種専門店
 - 飲食店
 - サービス等
- (単位：百万円)



売上高・営業利益率推移

近年では社内体制整備に注力しており、営業利益率は下がる傾向
2021年1Qにおいては売上高の減少が大きく影響し、営業利益率は減少

■ 売上高 — 営業利益率



売上高
(百万円)
営業利益率
(%)

10,954

10,858

8,935

9,094

7,413

8.4

7.9

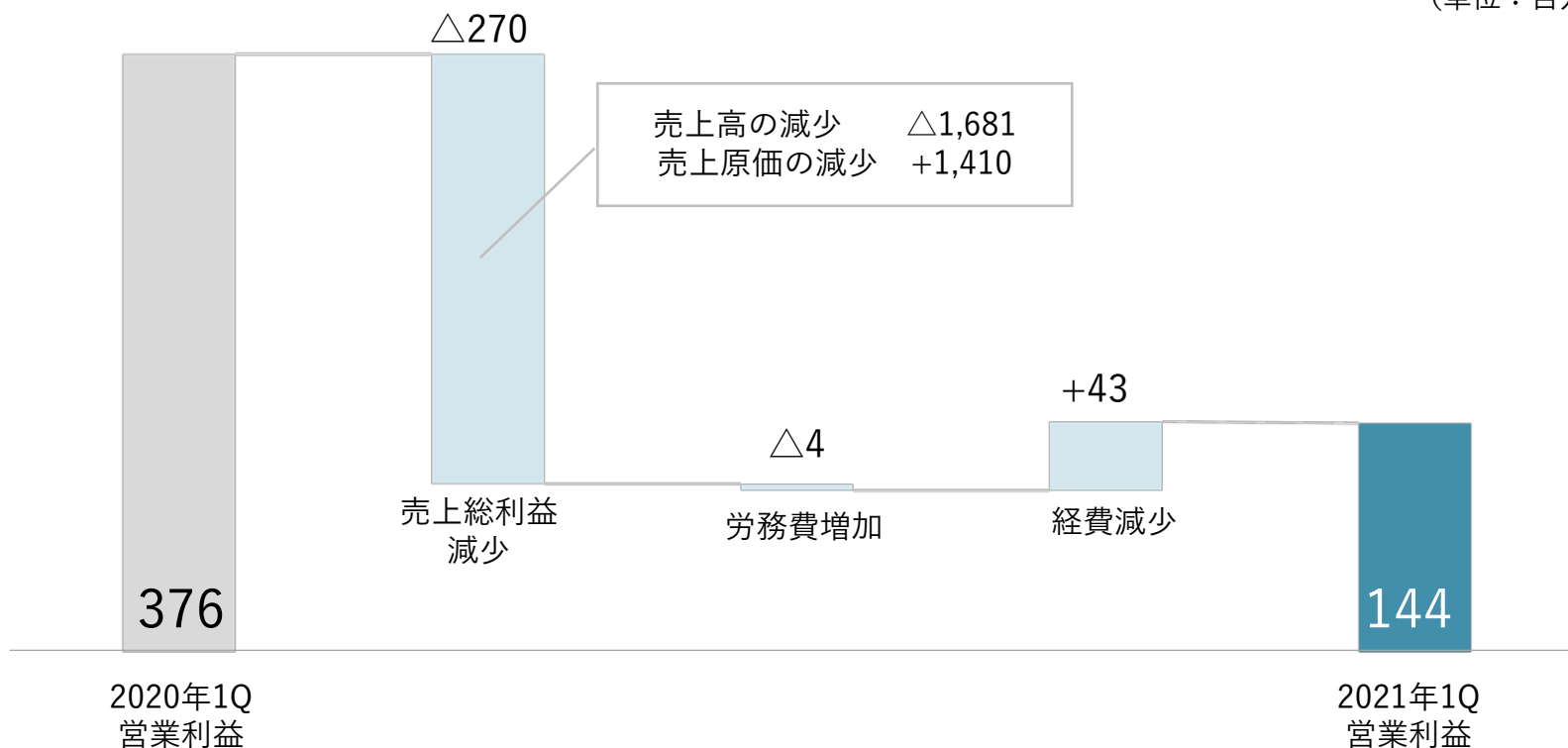
5.5

4.1

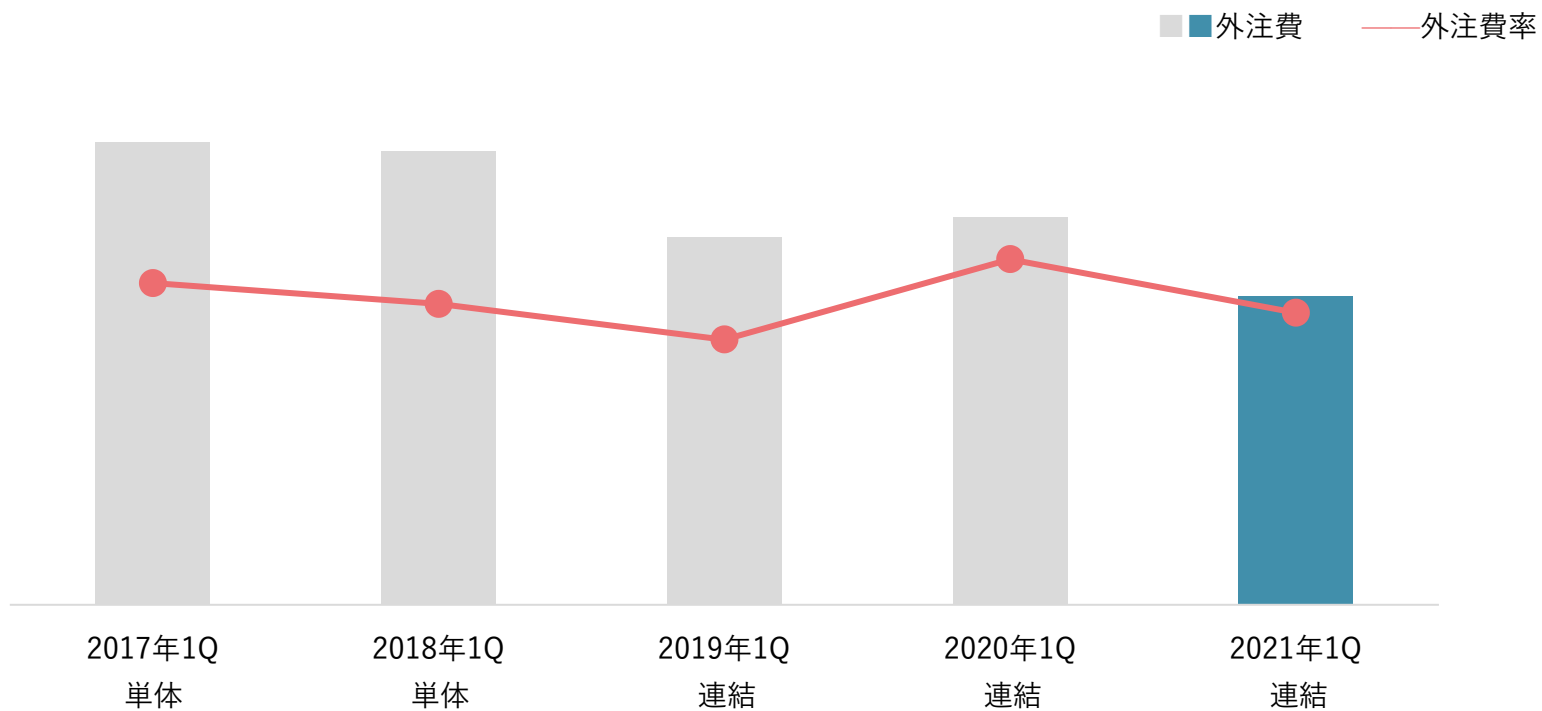
2.0

■ コストの削減に努めたものの、売上高の減少分を補うまでには至らず、営業利益は減少

(単位：百万円)



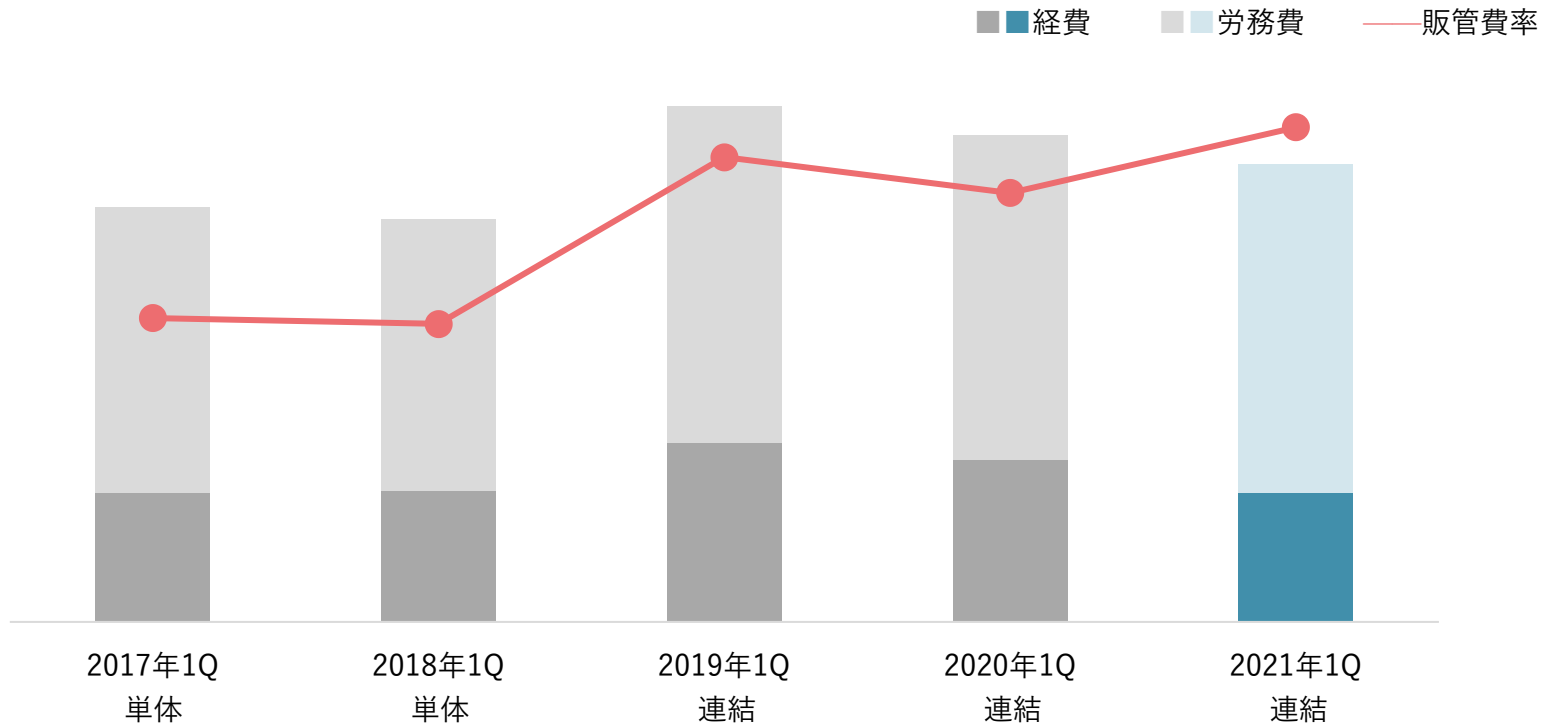
■ 中期経営計画に従い外注費率の削減に取り組み、前年同期より△1.8ポイントの削減となった



外注費 (百万円)	7,757	7,608	6,158	6,509	5,171
外注費率 (%)	70.8	70.1	68.9	71.6	69.8

販売費及び一般管理費

■ コストの削減に努めたものの、売上高の減少に伴い販管費率は増加



販管費
(百万円)
販管費率
(%)

556

541

693

653

614

5.1

5.0

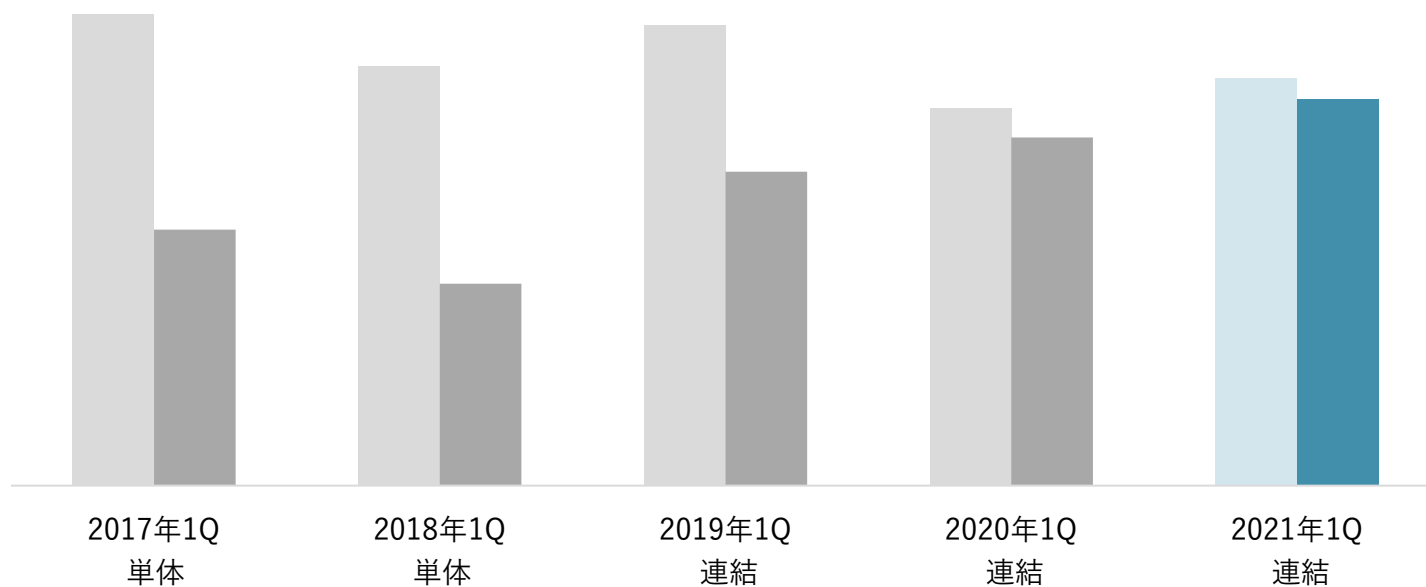
7.8

7.2

8.3

■ 前年同期に比べ受注高・受注残高ともに堅調に推移

■ 受注高 ■ 受注残高
(単位：百万円)

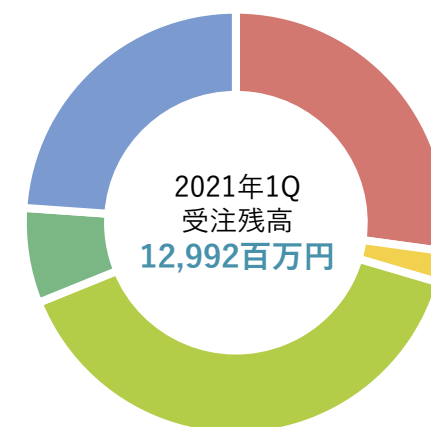
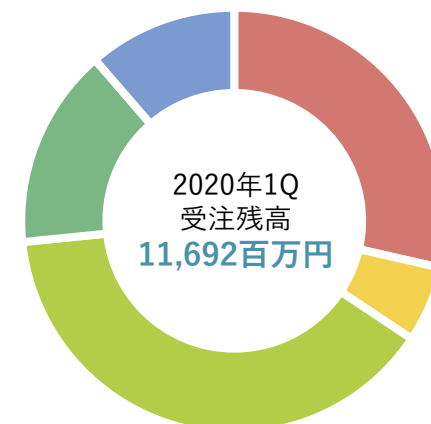


受注高	15,821	14,101	15,468	12,673	13,684
受注残高	8,592	6,783	10,537	11,692	12,992

市場分野別受注残高

中期経営目標にある顧客提供価値の向上に努めていることから、オフィス関連などのサービス等分野の受注残高が増加

	2020年1Q		2021年1Q	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ 複合商業施設 ■ 総合スーパー	3,339	28.8	3,529	27.2
■ 食品スーパー ■ コンビニエンスストア	676	5.9	311	2.4
■ 各種専門店	4,566	38.3	5,106	39.3
■ 飲食店	1,783	15.5	941	7.2
■ サービス等	1,326	11.5	3,103	23.9
合計	11,692	100.0	12,992	100.0



【参考】 損益計算書

	2020年 1 Q		2021年 1 Q		前年同期比	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	9,094	100.0	7,413	100.0	△1,681	81.5
売上原価	8,064	88.7	6,653	89.8	△1,410	82.5
売上総利益	1,029	11.3	759	10.2	△270	73.7
販管費	653	7.2	614	8.3	△38	94.1
営業利益	376	4.1	144	2.0	△231	38.5
営業外損益	2	0.0	6	0.1	4	320.1
経常利益	378	4.2	151	2.0	△226	40.1
特別損益	-	-	6	0.1	6	-
法人税等	128	1.4	77	1.0	△50	60.7
非支配株主に帰属する 四半期純利益	△0	△0.0	0	0.0	1	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	251	2.8	80	1.1	△171	31.8

【参考】 四半期推移（業績ハイライト）

（単位：百万円）

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,094	12,834	8,315	9,784	7,413			
営業利益	376	686	31	249	144			
経常利益	378	701	47	257	151			
親会社株主に帰属する 当期純利益	251	488	193	170	80			
1株当たり当期純利益 (円)	10.41	20.23	8.00	7.01	3.24			
営業利益率 (%)	4.1	5.3	0.4	2.5	2.0			

【参考】貸借対照表

	2020年度		2021年 1 Q		前年末比	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
流動資産	22,034	65.2	24,121	67.5	2,087	9.5
固定資産	11,737	34.8	11,599	32.5	△137	△1.2
資産合計	33,771	100.0	35,721	100.0	1,950	5.8
流動負債	4,099	12.1	7,056	19.8	2,957	72.1
固定負債	1,231	3.6	461	1.3	△770	△62.5
負債合計	5,330	15.8	7,517	21.0	2,187	41.0
純資産合計	28,440	84.2	28,203	79.0	△236	△0.8
負債・純資産合計	33,771	100.0	35,721	100.0	1,950	5.8

Agenda

01

2021年度 第1四半期 決算の概要

02

2021年度 業績予想

03

中期経営計画

04

サステナブル



2021年度 上期見通し

2021年度上期の利益予想は600百万円となり、前年同期を下回る見通し

(単位：百万円)

	2020年度上期 実績	2021年度上期 予想	増減額	前年同期比 (%)
売上高	21,928	20,800	△1,128	94.9
営業利益	1,062	1,000	△62	94.1
経常利益	1,080	1,000	△80	92.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	740	600	△140	81.0
1株当たり当期純利益 (円)	30.64	24.78	△5.86	80.9
年間配当 (円)	16.00	18.00	2.00	112.5

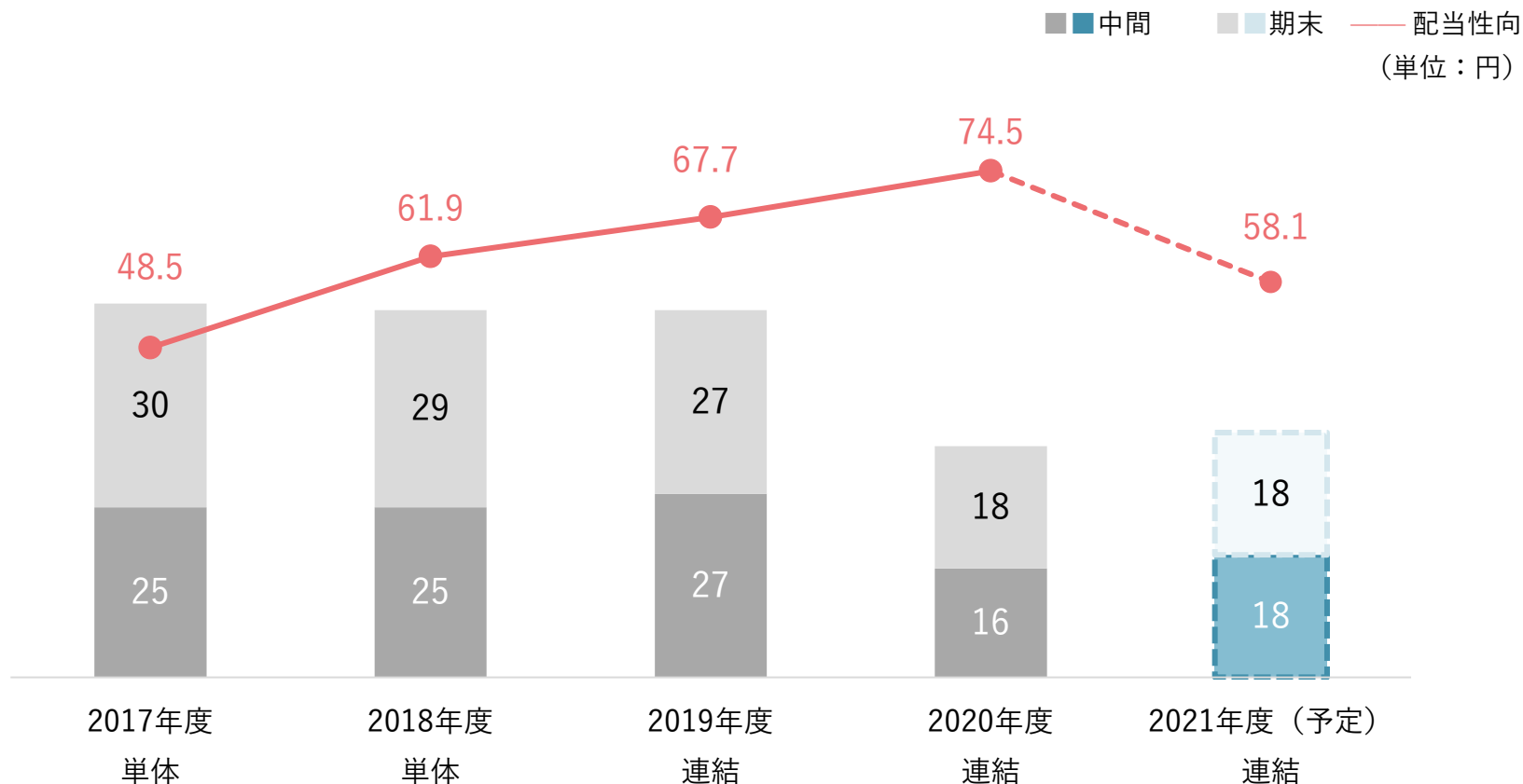
2021年度 通期見通し

2021年度通期の利益予想は1,500百万円となり、前年同期を上回る見通し引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の動向に注視していく

(単位：百万円)

	2020年度通期 実績	2021年度通期 予想	増減額	前年比 (%)
売上高	40,028	43,300	3,271	108.2
営業利益	1,343	2,300	956	171.2
経常利益	1,385	2,200	814	158.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,104	1,500	395	135.8
1株当たり当期純利益 (円)	45.62	61.96	16.34	135.8
年間配当 (円)	34.00	36.00	2.00	105.9

収益力の向上と財務体質の強化を図り、業績に連動した配当を維持する



※ 2017年度は特別配当5円を含みます。

※ 2018年度は記念配当4円を含みます。

Agenda

01

2021年度 第1四半期 決算の概要

02

2021年度 業績予想

03

中期経営計画

04

サステナブル



■ 中期経営計画「基盤構築」期の最終年度である2022年度までに達成すべき4つの目標

中期経営目標

2022年12月期

1

営業利益率
7%

2

ROE
10%
以上

3

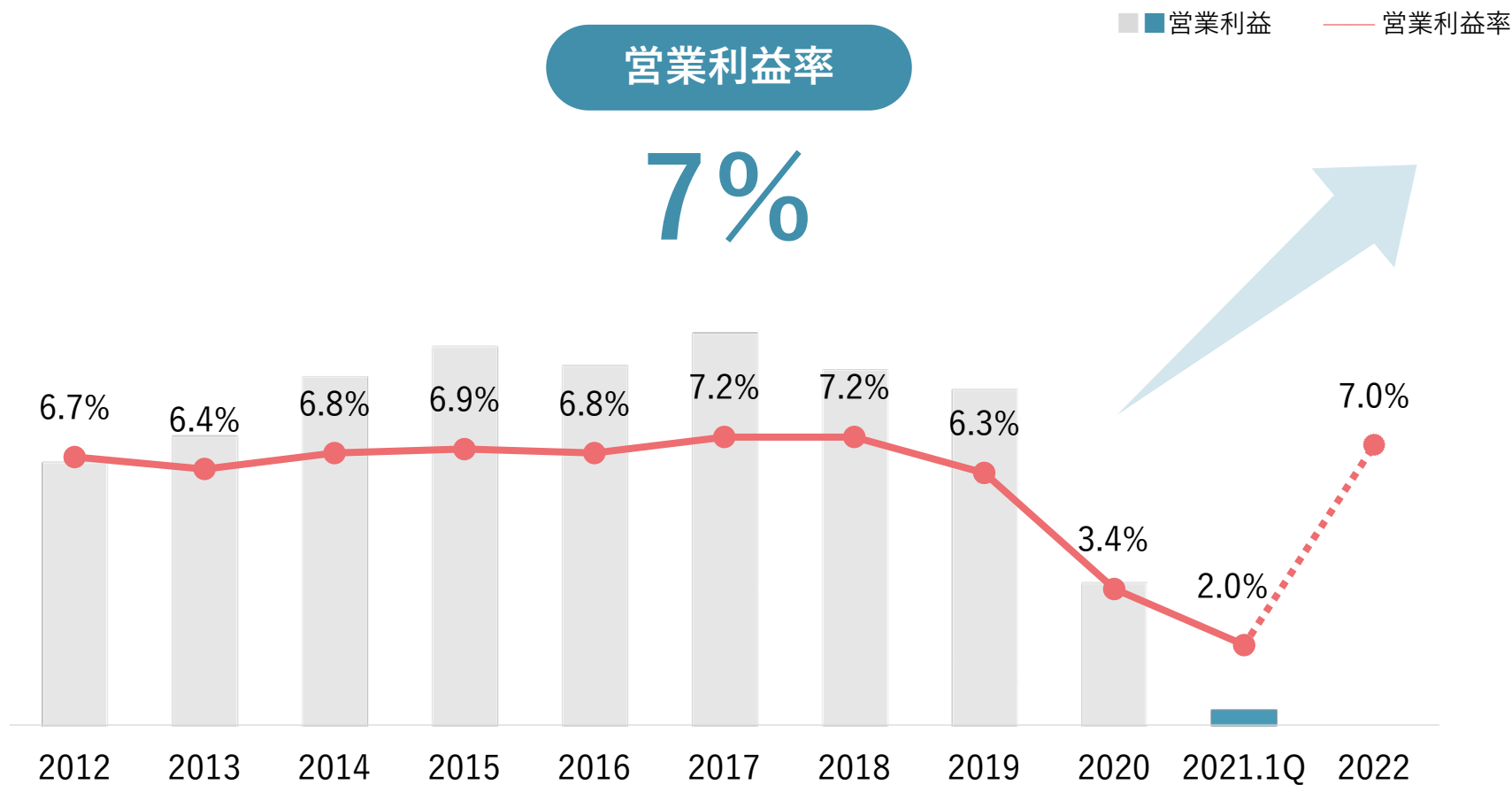
顧客
提供価値
の向上

4

社員全員が
働きがいの
ある会社

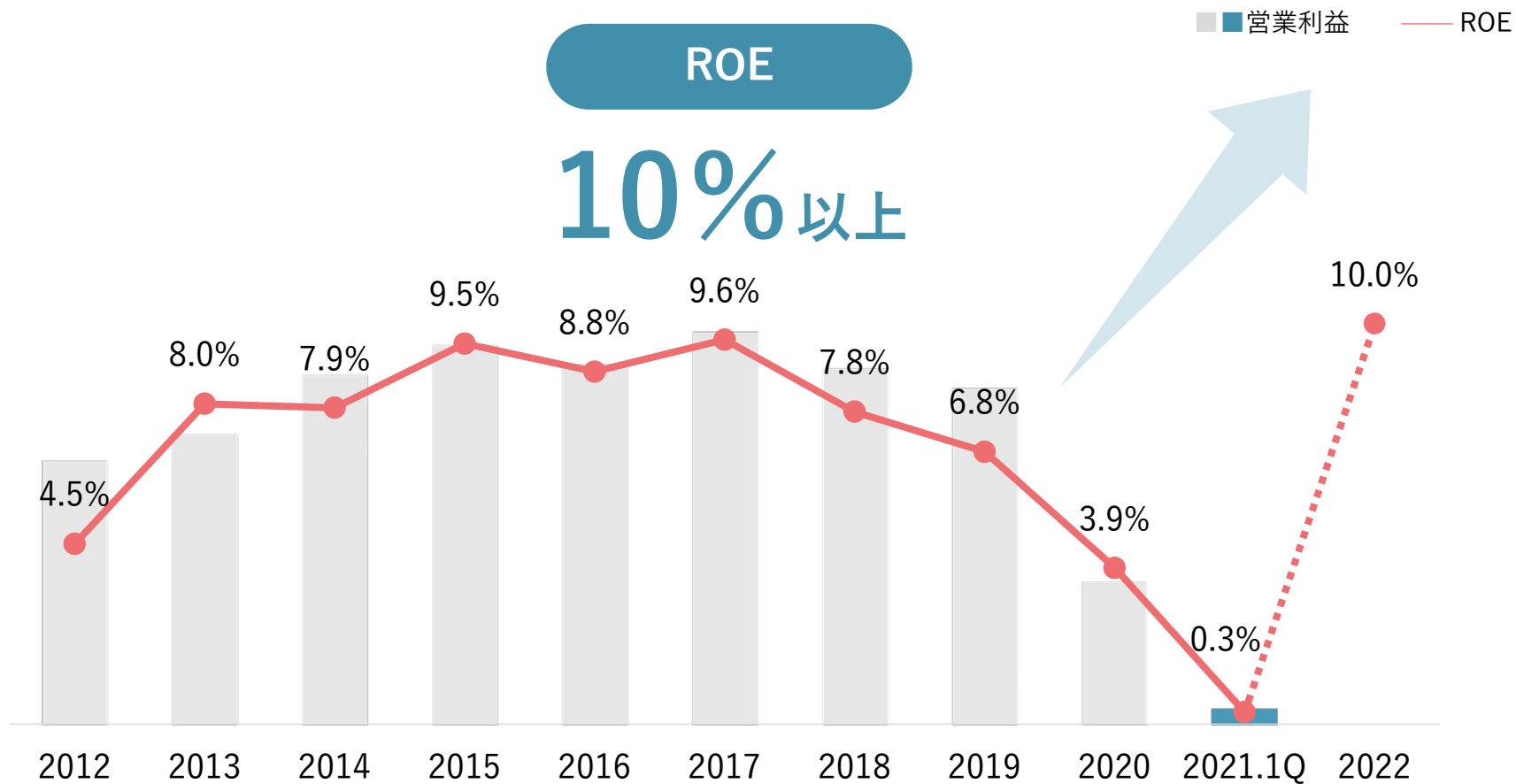
営業利益率7%

販管費は減少したものの利益の減少幅が大きく、厳しい結果となった
新しい生活様式に即した付加価値を提案し、受注獲得を目指す



ROE10%以上

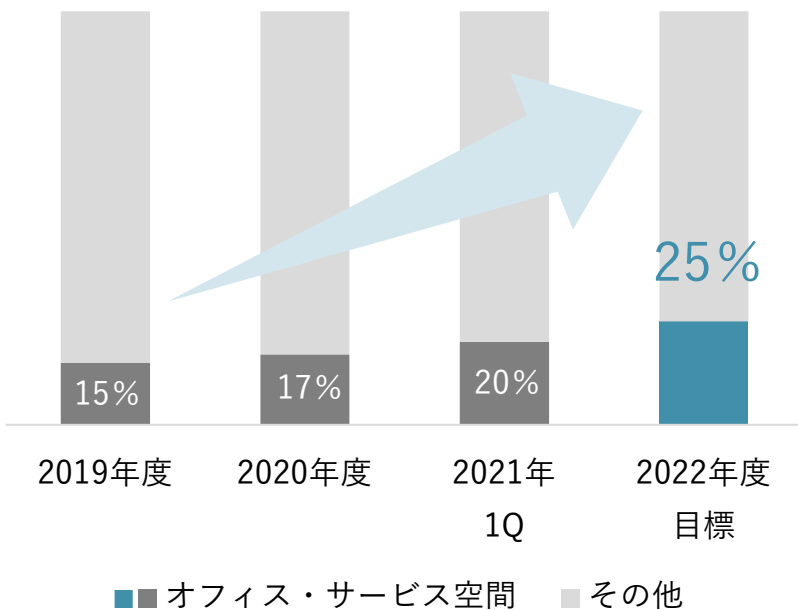
自己資本に大きな変動はなく、利益の減少に伴い厳しい結果となった利益の回復に努め、ROE10%以上を目指す



KPIは堅調に推移しており、今後も当社の強みとして確立していく

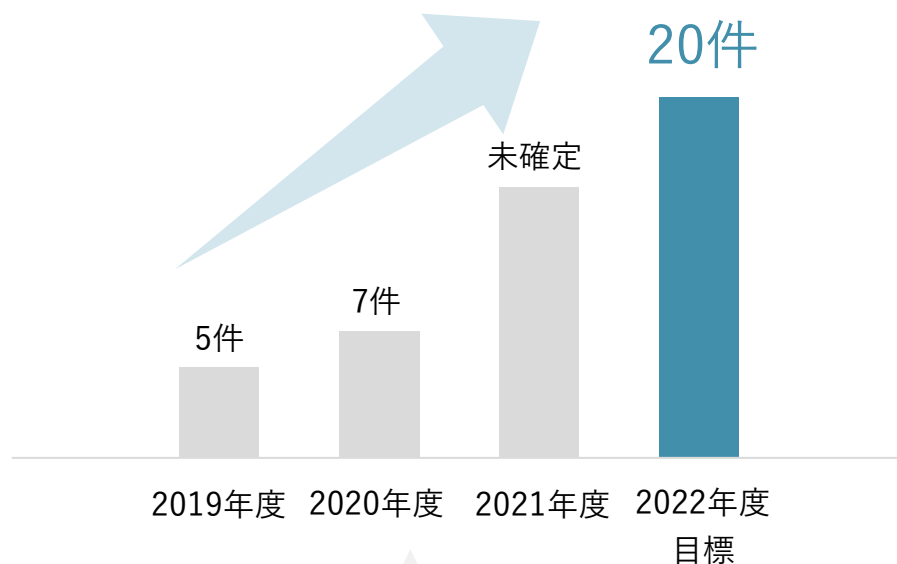
オフィス・サービス空間の売上比率

25%



地域活性に関わる案件数

20件



「地域活性に関わる案件数」の2021年度推進状況につきましては、現在19件推進中（未確定物件含む）です。

和歌山市民図書館

所在地：和歌山県和歌山市

クライアント：和歌山市様、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社様

当社業務範囲：実施設計、施工



既存の和歌山市民図書館を、和歌山市駅直結の「キーノ和歌山」施設内へ移転・新築する公共事業で、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社様が指定管理者となり空間設計・運営提案したプロジェクトです。

多様なニーズに合わせた場を設けることで、市民の暮らしと一体となって、幅広いシーンで本を楽しむ空間となりました。図書館エリアに加えて、カフェ・書店・物産・観光ブースも併設しているため、和歌山の新しい核となり活性化へ寄与する場となりました。

イーアス沖縄豊崎

所在地：沖縄県豊見城市
クライアント：大和ハウス工業株式会社 様
当社業務範囲：環境設計、施工、内装監理、リーシング



沖縄有数のビーチリゾート「美らSUNビーチ」が目の前に広がる、豊崎タウンの中核となる複合商業施設です。

イーアス沖縄豊崎が目指すのは、豊崎という土地そのもののブランディングです。周辺に位置するアウトレットモールや水族館、ホテルといった施設とともに、回遊してもらうことを意識しています。特にビーチの目の前という立地を最大限に活かし、施設の中ではありつつも外の海を感じられる構造を意識しました。この周辺の地域全体を楽しんでもらうことで、地元の人が気軽に立ち寄れる空間を目指しています。

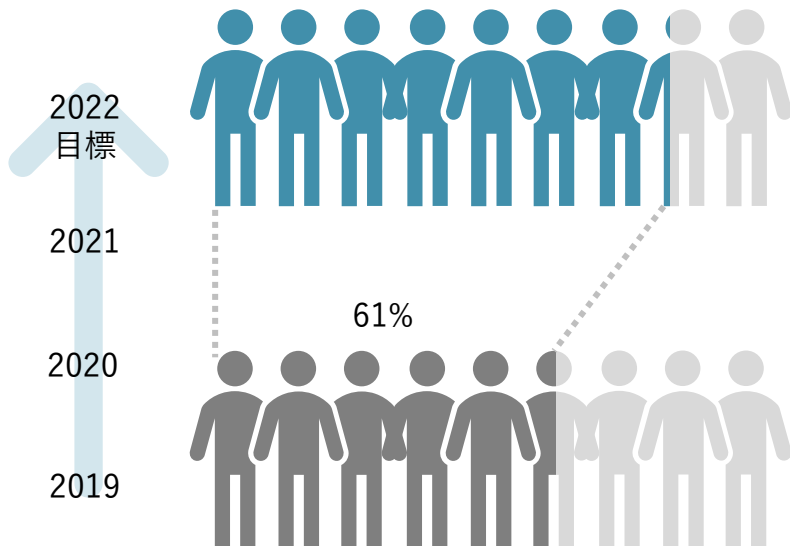
また施設内には全国的に有名なナショナルチェーン店と沖縄ならではの店をバランスよく誘致しており、地元の方と観光客のどちらにも楽しんでもらえる施設になっています。



働き方改革「WORK“S” INNOVATION」に取り組み、働きがいのある会社を目指す

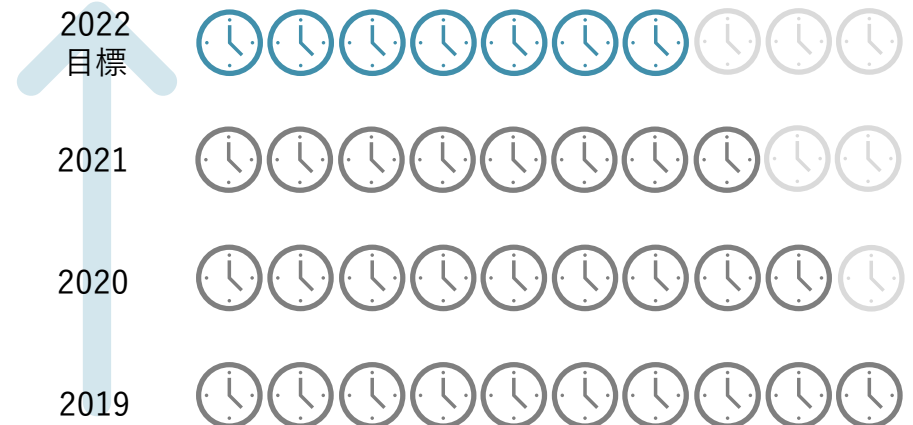
新卒社員3年後定着率

80%



1人当たり年間残業時間

2019年度比 30%減



※「新卒社員3年後定着率」につきましては、個人情報保護の観点から、途中経過の公表は控えさせていただきます。

「1人あたり年間残業時間」の2020年度実績につきましては2020年度目標“10%減”に対し、73%の社員が達成しました。

Agenda

01

2021年度 第1四半期 決算の概要

02

2021年度 業績予想

03

中期経営計画

04

サステナブル



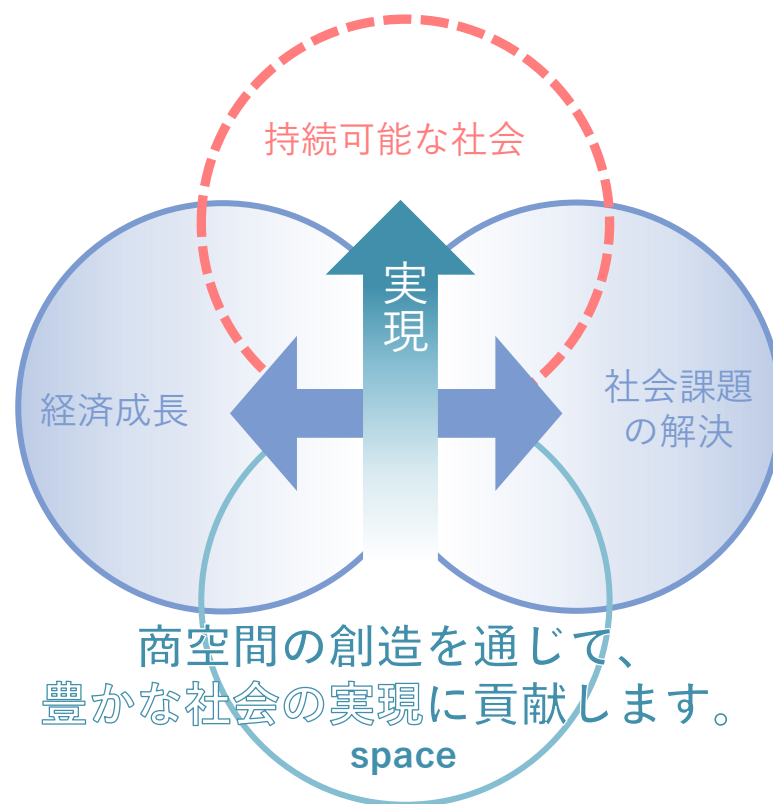
商空間の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献するとともに、豊かな社会を次世代に引き継ぐための活動に取り組む

サステナビリティ基本方針

スペースは、企業理念に「商空間の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。」を掲げています。

ここでの「豊かな社会」とは、経済成長と社会課題の解決が両立し、持続可能な発展を可能としている社会です。

私たちは、「空間の可能性を追求する」というMISSIONを通じて社会に価値をもたらすことにより、自社と社会双方の持続可能な発展を目指し、以下を重要課題として取り組んでまいります。



7つの重要課題を特定、基本方針に基づき取り組みを進める

重要課題（マテリアリティ）

— 地域コミュニティへの貢献

地域のステークホルダーと協調関係を構築し、地域社会の活性化や発展、価値向上に貢献します。

— 環境負荷の低減

エネルギー、資源といった環境課題にバリューチェーン全体を通して取り組み、環境負荷の少ない事業を推進します。

— 多様性の尊重

性別・人種・国籍・宗教などに関わらず、多様な個人が尊重される社会の実現に貢献します。

— 持続的成長に向けたガバナンスの強化

法令や規範を遵守し、透明性を持った誠実な事業活動を行います。

— 安全・安心な空間づくり

安全かつ豊かで便利な生活に寄与する、強固でしなやかな空間づくりに取り組みます。

— 持続可能な調達の推進

公平・公正な取引を徹底するとともに、人権や労働衛生、環境に配慮した調達を推進します。

— 人材開発と働きがいのある職場づくり

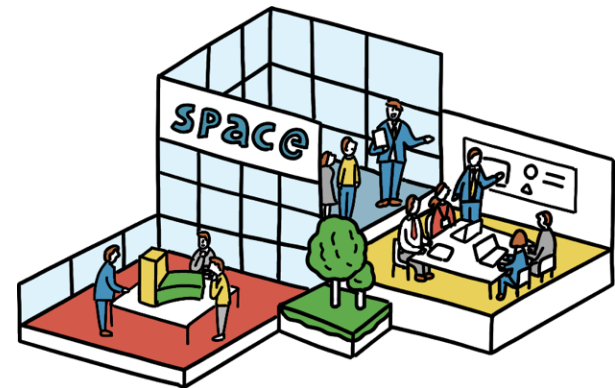
人材が価値を生み出す源泉であると捉え、社員が能力を発揮し活躍できる労働環境を実現します。



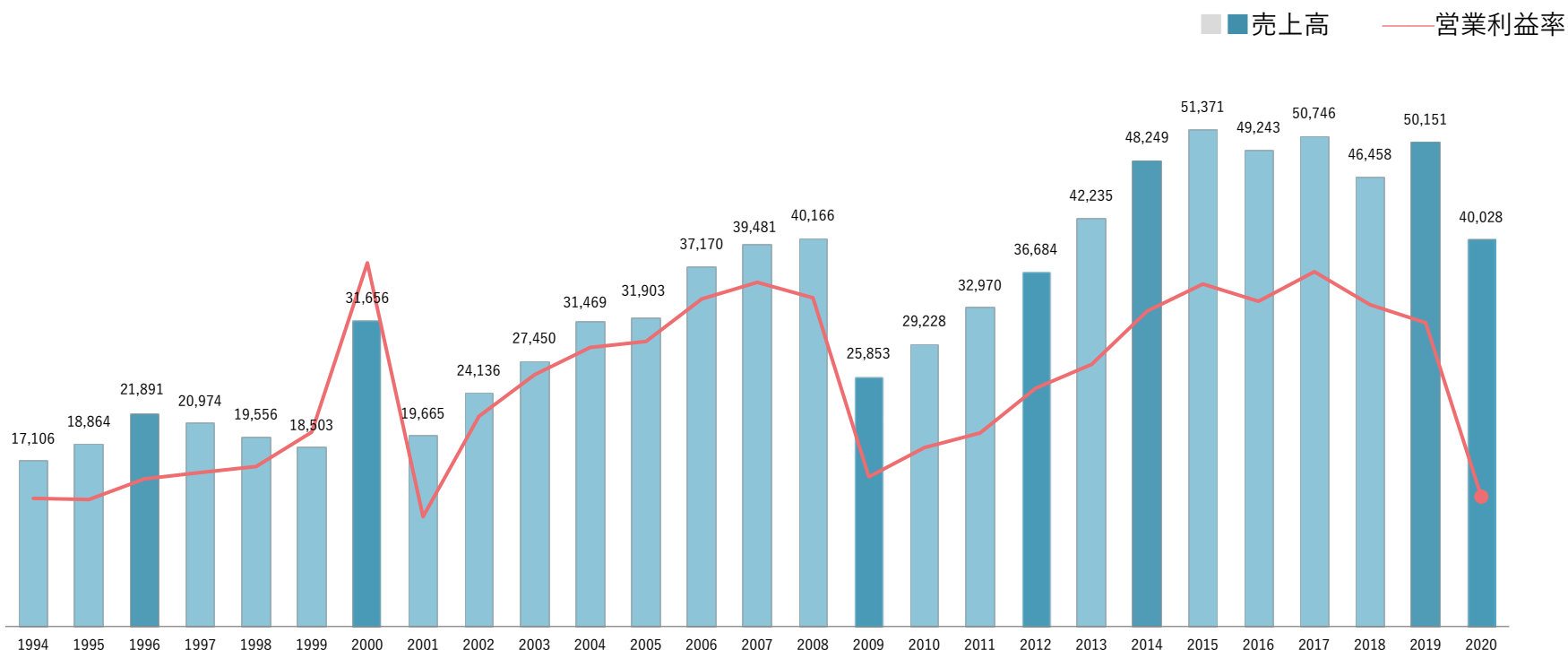


參考資料

商号	株式会社スペース SPACE CO., LTD.
創立	1948年（昭和23年）7月
上場	東京証券取引所市場第一部（証券コード:9622）
資本金	33億9553万円
従業員数	連結：957名 単体：941名（2020年12月末時点）
子会社	3社
営業拠点	国内14拠点 海外2拠点
事業内容	ディスプレイ業
決算期	12月31日



売上高及び営業利益推移



※ 当社は2019年度より連結決算を開始したため、2018年度以前は単体数値を掲載しております。

明日が、笑顔になる空間を。

SPACE



IRに関するお問い合わせ

企画管理本部 財務部
ir_info@space-tokyo.co.jp

本資料には、現時点で入手可能な情報に基づいた将来に関する見通し、計画に基づく予測が含まれています。社会・経済・業界状況の変動等に関するリスクや不確定要素により実際の業績が記載の予測と異なる可能性がありますことをご了承ください。